

# ゆきの灯り

第11号  
平成29(2017)年  
11月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228

## 10月の専門部会

### わくわく農業チャレンジャー部会 (第2回)

今まで農業振興・特産品開発事業専門部会という名称でしたが右記のように部会名が変更されました。部会員の今井さんがRCCテレビ「イマなま!」に出演され、源流の里しんさかの特産品「辛うてごめん」を紹介されました。



### 地域子育て世帯支援部会 (第2回)

9月に行ったアンケートを受けて、子育てニーズや支援対策を掘り起こしました。アンケートの中で「子どもを見てもらえる親族・知人がいな

いので困る」を選んだ世帯が保育所・小学校共に3世帯ありました。

油木が子育てしやすい町となるよう、今後は福祉課とも連携していく予定です。

### 伝統文化等継承部会 (第2回)

油木の子ども達に伝統的な文化を知って欲しいという想いで、12月16日のゆきキッズで神楽の体験鑑賞会を開催することにしました。

大黒様がお菓子を配ってくださるそうです!!



## 連携会議



### 田舎暮らし体験・移住促進事業

### いちば再生事業

### 体験・交流推進事業

### 伝統文化等継承事業

右記の4つの部会の部会長・副部会長に参加いただき、連携会議を開催しました。

4月からの各部会の進捗状況の報告から始まり、今後の予定・展望を話していただき、情報共有を図りました。各部会で今後の取り組みは違いますが、油木を良くしていくことという目的は同じです。

今後最適、連携を行っていただき、住みよく活気あふれる油木のまちづくりに向けて、協力をお願いしました。

ユニークで気持ちの熱い人が多い油木はこれから変わっていくはずです。

## ゆきふかまつり

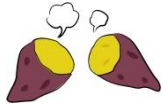
2017ゆきふかまつりまつりが10月22日(日)台風の接近による悪天候の中、会場をシルトピア体育館に移し開催されました。雨にもかかわらず、参加者の皆様のご協力によりスケジュールどおり進行し、無事終了しました。

### よさこい踊りのみなさん



屋外テントの飲食ブース

### 自治振興会より



源流の里しんさかでは10月9日(月)秋晴れのもと、「内海町の将来を考える会」との交流会「新坂わくわく大収穫祭!芋掘りと竹を使った昔の遊び」が行われました。



### 油木地域 天田川一歳の皆さん



10月15日(日)に油木地域は油木山村開発センターで、仙養地域はふるさと会館で、11月4日(土)に安田地域は喜楽荘で敬老会を開催されました。

各地の敬老会

### 将棋の世界は奥が深いね!



10月21日(土)に将棋教室を、11月4日(土)にお茶教室をしました。

ゆきなび

ゆきキッズクラブ報告



### ハッピー・ハロウィン!

10月31日(火)に油木保育所の園児たちが、油木協働支援センターへ手作りの衣装を身に付け、訪ねてくれました。



### ゆきキッズクラブ

12月の予定

そば打ち体験教室

12月 2日(土)

料理教室

クリスマスケーキ

12月 9日(土)

将棋教室

12月 16日(土)

### 日本の心を学ぼう



この頃思うこと その一  
西油木自治振興会長 三原豊

「それぞれ、自分の思いで動いているんだろうなあ」「みんな一生懸命やっているなあ」「それにしても知らない人が多いなあ」というのが、14年前に36年振りにUターンした私の感想です。

この町を一步も出ずに、ずっとここで働いている人がいます。学校を卒業して町で働いて何年か振りに帰ってきた人がいます。最初から「定年になったら」「親が年老いたら」と決めて、その様にした人がいます。

町とほとんど縁もゆかりもない人が、何かの機会があって「終のすみか」とした人もいます。

この町が好きで人がいれば、そうでない人もいるでしょう。何かの理由で仕方なく住んでいる人もいます。

さて、古希が近くなったので、二つの言葉が頭をよぎります。「断捨離」と「終活」です。

(12月号につづきます)

